

## 活動日程

期 日	事 業 内 容
8月4日(金)	出発式
8月5日(土)	新千歳空港から広島空港へ
8月6日(日)	平和記念式典参加、記念碑めぐり、被爆体験談拝聴、資料館見学ほか
8月7日(月)	広島空港から新千歳空港へ (出発時間まで自主研修)



井森みゆきさんから平和の願いが込められた折りづるを預かる(8月4日、早来庁舎)



研修の成果を発表する早来中3年の大原れいさん(9月1日追分公民館)



説明資料を配布する被爆体験者の塩冶節子さん(写真左端)

などのあいさつが行われ、最後に「ひろしま平和の歌」を全員で合唱。式典は厳粛に執り行われたといえます。

### 被爆体験者の声を聞いて

式典終了後、現地の方の案内で慰霊碑や供養塔などを見学。5歳の時に被爆した塩冶節子さんから、体験談を聞き、当時発行された被爆証明書の現物を見せてもらいました。

自分の妹が原爆の後遺症で亡くなった話になると涙ぐんでいたのが印象的だったそうです。

### 平和記念資料館に行つて

原爆に関する写真や遺品などを収めている平和記念資料館では、皆さん声を詰まらせたといえます。

原爆投下時刻で止まったままの腕時計、焼け焦げた衣服、熱線を浴び背中中の皮膚がたれた人の写真など、核兵器の恐ろしさを参加者全員が実感したそうです。

### 現在の広島市を視察

北海道に帰る日、出発まで市内を自主研修。世界文化遺産に登録された厳島神社や国

の史跡である広島城などを視察しました。

### 研修を終えて

「充実した2泊3日でした」と参加した全員が感じています。「戦後61年が経過し、戦争の記憶が薄れ、原爆の悲惨さが忘れ去られようとしている時代だからこそ、この事業を続けてほしいと思います」と参加した生徒からコメントをいただきました。

また、「被爆された方から直接お話を聞くことができ、貴重な経験をしました」と語ってくれました。



悲惨な状況の写真を真剣に見つめる会場の皆さん(体験発表会場にて)



現在の原爆ドーム周辺